

高浜再稼働阻止へ氣勢



「原発再稼働ストップ」のパネルを掲げる参加者＝福井市西公園で

福井で集会、1200人参加

関西電力高浜原発3、4号機（高浜町）をめぐる、再稼働阻止を訴える住民らの集会在五日、福井市花月

一丁目の西公園であった。全国から参加した千二百人（主催者発表）が再稼働しないよう求めた。

三日に野瀬豊高浜町長が同意。これを受けて県議会も十二月定例会最終日の十七日に同意を決議する方針で、早ければ年内にも西川一誠知事が同意を判断する可能性があり行政手続きは最終局面を迎えつつある。

実行委の共同代表を務める「福井から原発を止める裁判の会」の中嶋哲演さん（左）＝小浜市＝は「取り返しつかない被害地元になる前に立ち上がろう」と呼び掛けた。東京電力幹部らの刑事責任を追及する福島原発告訴団長の武藤類子と

ん（左）＝福島県三春町＝は、福島原発事故から五年近くかけ刑事裁判にこぎ着けたことに言及。「あきらめないことが大切」と訴えた。集会後、運転差し止めの仮処分決定の異議審の舞台となっている福井地裁前などをデモ行進した。

敦賀市の高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃炉を求めると同時に、参加者は「無駄で危険なもんじゅは廃炉に」とシュプレヒコールを上げた。

全国から集まる

関西電力高浜原発3、4号機の再稼働阻止を訴えた集会。全国から集まった各団体の代表者らが参加者と

ともに氣勢を上げた。

被災者支援に取り組み「ふくしま復興共同センター」（福島市）の斎藤富春さんは「福島第二原発の廃炉はオール福島の声。再稼働は福島切り捨てと一緒に」と主張。脱原発を目指す市民団体「たんぼ舎」（東京都千代田区）の柳田

真さんは「来年四月から電力自由化となり、原発電力を買わずに済む。原発を進める電力会社にとってそれが痛手になる」と述べた。最後に「福井地裁の運転差し止め仮処分決定を順守し、本気で止めるよう強く訴える」とのアピール文を採決した。（塚田真裕）

12/6 福島